

10/11

市長が教える、こだわりの場所とグルメ



フリーライター・譽田亜紀子氏が著作し、松江市・境港観光協会・出雲市が監修した「神様と妖怪に出会う旅」の刊行記念イベントが開催されました。

イベントでは松江・境港・出雲の3市長が各市のこだわりの場所やグルメなどそれぞれの地の魅力を紹介しました。



「八雲とセツを追いかけて

神様と妖怪に出会う旅

松江・境港・出雲  
刊行記念イベント

詳細は  
こちらから



松江まちかど

ダイアリー



松江市PRキャラクター  
おまつちえ

## 小泉八雲とセツの 面白エピソード

その3

～八雲とセツのちょっとしたエピソードをご紹介します～



アリシア・フォリー(愛称マティ)1854-1913年  
新宿歴史博物館

### 小泉八雲の“妻”の誕生日は？

小泉八雲もセツも再婚同士でした。八雲の最初の結婚はアメリカ時代で、八雲は24歳、お相手は4歳年下のマティという黒人の女性。しかし2人が結ばれた当時のオハイオ州の法律は、異人種間の結婚(八雲は白人)を禁じていました。そのため八雲は、違法な結婚が原因で新聞社を解雇されてしまいます。

マティが生まれたのは1854年2月4日(平川祐弘監修『小泉八雲辞典』恒文社)。セツは1868年2月4日。生まれ年は違いますが、驚いたことに、2人は同じ誕生日だったのです。

市報 松江

目次

- 02 新松江市合併20周年記念式典
- 04 松江まちかどダイアリー／小泉八雲とセツの面白エピソード
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」／まいぶんTIME
- 06 食べごろ松江／シリーズ松江の文化力×未来
- 07 松江の皆さんこんにちは。／マイレポート
- 08 12月4日～10日は人権週間です
- 09 インド・ケララ州との10年の歩み 新たな挑戦へ
- 10 冬への備えを万全に!
- 12 市税などの通知・証明書類が変わります
- 13 令和8年度 松江市国民健康保険(国保)人間ドック・脳ドック受診者の募集
- 14 インフルエンザの流行に注意しましょう
- 15 みんなに知ってほしい飲酒のこと／ガス缶は金属の指定袋に入れて出してください
- 16 マンション管理計画認定制度をご存じですか?／中海・宍道湖・大山園域市長会通信
- 17 予算執行状況のお知らせ
- 18 市職員の給与・定員管理などを公表します
- 20 子育て・健康・福祉
- 22 12月3日～9日は「障がい者週間」です
- 23 情報ひろば
- 30 でかけてごしない～イベント情報～

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。  
QRコードを読み取って、  
空メールを送ってください。



商標について:QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

松江市長 上定 昭仁の

# 上を向いていこう

Vol.50



## 「新松江市が 二〇歳を迎えました！」

平成17年3月31日に1市7町村の合併によって**新松江市が誕生**してから、今年で20周年。この節目を市民のみなさんと祝う**記念式典**を、**10月26日（日）**、さんびる文化センタープラバホールにおいて**開催**しました。

県知事、地元選出国會議員、近隣自治体・姉妹都市の首長、市内の企業・団体、市民のみなさんをはじめ、総勢450人の方々に参加していただきました。

記念式典の中で、市政の発展に力を尽くされた方々を表彰し、感謝の意をお伝えしました。今般、**故・細田博之元衆議院議長と松浦正敬前松江市長**に対して、「**松江市名誉市民**」の称号をお贈りしています。

さらに、式典において、今年誕生した松江市のPRキャラクター「**おまっちえ**」をお披露目し、デザインと愛称を考案されたお三方に表彰状をお渡ししました。これから「**おまっちえ**」をよろしく願います😊

合併20周年に華を添えてくださった、**松江プラバ少年少女合唱隊の透き通るハーモニー**と、プラバホールの誇る**パイプオルガンの荘厳かつ繊細な響き**に、ご列席のみなさんから**拍手喝采**を頂戴しました。松江の未来が鮮やかに見通せる、素晴らしい

演奏でした♪

合併20周年という大きな節目を契機に、輝かしい市史を築いて来られた先輩方に感謝するとともに、本市が持つ多彩な資源や魅力を改めて認識し、市民のみなさんが本市への愛着や誇りを育み、その**発展に向けて力を結集**できるものと確信しています。

「**夢を実現できるまち 誇れるまち 松江**」を創造すべく、本市は今後も市民のみなさんとともに力強く歩みを進めてまいります。ご理解とご協力をよろしく願います。

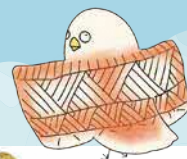


## まいぶんTIME

市内の遺跡や出土品（埋蔵文化財）について紹介します

### Vol.26 飛翔する鳥

国内初の事例だよ



八幡町にある八幡鹿島山古墳からは、全国で初めて朝顔形埴輪に取り付けられた「**鳥形装飾**」が出土しました。これまでの研究では、鳥は死者の魂をあの世へ導くものとする考えが一般的ですが、この鳥形は広げた羽に盾形埴輪や甲冑形埴輪と同じ文様が施され、赤い顔料も塗られていました。古墳の周囲を飛び回り、守護するものとして飾られたのかもしれませんが。いずれにせよ当時の人々の死生観を考える上でも貴重な発見となりました。







## 食べごろ松江

Vol. 13

### 自然の甘い味わい 西条柿くほし柿く



秋の訪れとともに色づく果物、柿。本市では「西条柿」が多く栽培されています。この柿は渋柿のため、そのままでは決して食べられませんが、手を加えることにより糖度の高いおいしい柿になります。西条柿の加工品の一つとして、ほし柿があります。西条柿が市内で広く栽培されていることから、ほし柿も市内各地で生産されています。

き込む傾斜地になっており、自然環境や気候に恵まれています。

この畑地区では、今年で設立70周年を迎えた「畑ほし柿生産組合」の生産者が、西条柿の栽培からほし柿の生産まで行っています。11月になると収穫した西条柿の皮を一つ一つ手作業ではぎ、江戸時代にはすでにあったとされる「柿小屋」と呼ばれる専用の乾燥場に干していきます。天候や柿の状態を確認しながら、天日干しや補助乾燥などの行程を経て約1カ月でほし柿ができあがります。

西条柿は、柿の木の剪定作業から草刈り、夏の暑さの中での摘果作業など、生産者の皆さんが丹精込めて栽培されています。その柿から作られるほし柿、「あんぽ柿」と「枯露（ころう）柿」は、それぞれの特徴をもちながら、どちらも自然の甘みがたっぷりです。

この「枯露（ころう）柿」を本市では東出雲町上意東で多く生産しており、戦国時代には毛利氏と尼子氏の戦場で携帯食として用いられていたと伝えられています。この土地は、水分を保持しやすい土質であり、さらに「ほし柿の里」として知られる畑地区は、標高が比較的高く、乾燥した風が吹

き込む傾斜地になっており、自然環境や気候に恵まれています。



<西条柿>



<柿小屋>



<枯露柿>

写真提供：畑ほし柿生産組合

【この記事に関する問い合わせ】農政課 ☎55-5232

【販売に関する問い合わせ】JAしまねくにびき地区本部園芸特産課 ☎55-3033

## シリーズ「松江の文化力×未来」

松江の文化力の次世代を担う人を紹介します！

Vol.23



ふじい なおこ  
藤井奈央子

松江市出身。  
7年10月から松江ゴーストツアーの語り部を務める。  
島根県の観光を盛り上げたいと、日々奮闘中。持ち前の明るさでお客様の旅をサポートする。

この秋、私は「松江ゴーストツアー」の語り部として、新たな一歩を踏み出しました。小泉八雲が再訪した怪談に登場する舞台を巡りながら、その地で怪談を語るこのツアーは、松江の風景の中に息づく、八雲の世界を感じていただける特別な時間です。また、どこか不気味な夜の松江城やお寺の空気は、ツアーの雰囲気をつくってくれます。もともと私は山陰の観光や地域の魅力発信に関心があり、山陰インバウンド機構が開校する「山陰ツーリズム人材育成塾」に参加するなど、さまざまな取り組みを行ってきました。そうした取り組みの中で同じように地域を愛し、活動する人々と出会いました。ゴーストツアー語り部の伊藤さんもその一人です。伊藤さんとの出会いは、語り部の募集を目的としたモニターツアーに参加するきっかけとなり、「自分の言葉で八雲の世界を語りたい」と思うようになりました。



約半年間の研修では、語りの技術だけではなく、小泉八雲の作品や生涯について深く学ぶことができました。最後の

の实地研修では、怪談の舞台でもある大雄寺にて、小泉八雲記念館・小泉凡館長を前に語り部を披露しました。実際のツアーさながらの緊張感の中での経験は、その奥深さと楽しさを実感するものとなりました。

ついにデビューを迎えた10月のツアーは、本当に楽しく、あっという間の時間でした。時間配分やお客様の没入感の作り方など、難しさも感じましたが、それ以上の学びと喜びに満ちた経験となり、どれも私の心に刻まれています。

怪談には、怖さ・面白さだけでなく、どこか切ないさみしさもあります。これから八雲の作品への理解を深め、その中に込められた想いを感じとりながら、私なりの言葉で紡ぎ、お客様の心に届けていきたいと思っています。

【この記事に関する問い合わせ】文化振興課 ☎55-5517

【ツアーに関する問い合わせ】（一社）松江観光協会 ☎27-5843

## 松江の皆さん こんにちは。



さくらい あ き こ  
櫻井亜木子

鶴田流薩摩琵琶奏者。日本琵琶コンクール優勝。小椋佳全国ツアー、多数アーティストの舞台、映画、アニメ音楽に参加。松江城天守閣にて演奏。NHKテレビ、ラジオに出演。「耳なし芳一」をニューヨーク、アジアソサイエティ、マサチューセッツ工科大学にて公演。



←櫻井亜木子  
facebook

私が初めて「松江」という言葉を耳にしたのは間違いなく母からでしょう。なぜならそれは、私の祖母が茶町の生まれだから。母は茶町の傍らにある自宅前の用水路の水に産湯を浸かった事で「洋子」と名付けられたそうですが、宍道湖に浮かび上がる朝霧のように、私にとって松江は幼少の頃より少し幽玄めいた所でありました。

大人になり、琵琶仕事として松江を何度となく訪れるも、最近まで遠い親戚のいる「全国の仕事現場のひとつ」という感情に過ぎませんでした。しかし、懇願していた結婚が叶った44歳、相手は偶然隣の中学校という地元同士だったので、話を聞けば彼の父親が松江出身だったのです。更に驚くべきは…といっても、これは単に琵琶奏者としての驚きに過ぎないのかもしれないが、夫となったその彼は、5歳の時に交通事故にあい左目の視力が極端に弱く、実は義父もこども時代に左目を怪我しているのです。もう皆さんおわかりですよ。

「東京松江会」への入会者を募集しています。関東地方在住の人をご紹介いただける人はご連絡ください。  
〒140-0001 品川区北品川1-1-16 第2小池ビル6階 榎さんびる内 東京松江会事務局  
☎090-1188-0776 (幹事長 境 真樹) ✉tokyomatsuekai@gmail.com 東京松江会ホームページ

## まちをよくする マイルレポート

### 賢い消費者になるために

松江市消費者問題研究会

会長

万代悦子  
まだい えつこ

松江市消費者問題研究会は、消費者被害の防止や環境問題、食品ロスの削減や地産地消など、消費生活に関するさまざまなテーマについて、研究や啓発を行っている団体です。

今年、昨年から話題となっている「令和の米騒動」とよばれる、米不足やお米の価格高騰の問題について、お米の生産や販売に関わる方をお招きし、現状や課題についてお話を伺う意見交換の場を設ける予定です。

内でお米を安定的に生産できる仕組みが守られます。また、農薬や化学肥料の削減など環境負荷を軽減して作られたお米を購入することや、地元産や被災地で作られたお米を購入することで、健康や環境、地域経済への貢献につながるとも考えられます。

お米の問題については、家計への影響を考え、パンや麺類など主食のバリエーションを増やすことや、外国産などの比較的手頃な価格のお米を購入することも対策として必要ですが、その一方で、国産米を積極的に購入することは、国内の生産農家さんへの応援や活性化につながり、結果的に国



〈消費生活に関する研修の様子〉